

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人ワーカーズ ユープかがやき	代表者	新井 厚美	法人・ 事業所 の特徴	一人ぼっちにしない、寝たきりにならないを理念に、利用者一人一人に寄り添い、「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組み合わせることにより、住み慣れた地域でその人らしい暮らしが続けられるように支援いたします。
事業所名	四季のベンチ	管理者	篠原 澄江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	3人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善点も具体化し、まず明るい事業所作りを目指します。地域の仲間に入らせていただく。	区費を納めるようにした。地域活動（草刈りなど）に参加するようになった。	近所の方と気楽に話ができてつつある。野菜など頂くこともある。秋祭りの来所人数もとても増えた。	秋祭りの充実・地区の行事の参加をしていくことで、事業所の運営を活性化させたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	衛生面に力を入れてきたことで、感染も大きく広がらなかった。継続していきたい。	インフルエンザの流行時にも発症せず良かった。職員も感染したものはいなかった。	この調子で継続していきたい。	感染の予防対策は今回も同じように継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域や家族に向けに、お茶会や、なんでも相談の日などを企画して行ってみたい。	花壇作りのボラの呼びかけなどし参加頂いた。家族会も継続出来ている。地元組合員のつどいの中で見学会もあった。	ここはどんな所？と来所があったり電話も来るようになった。相談事も少し出てくるようになった。	相談事にきちんと対応していきたい。家族会の充実を図りたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の想いをお聞きしながら外出の計画をしてみる。	個々の関わりがなかなか出来ないが全体としては季節が限られてしまうが外出の楽しみが出来る。	登録人数の増加で個別の外出が難しくなりそうだが、室内で出来る楽しみを増やしたい。	外出に限らず、室内でも大いに楽しめる企画をする。ボラさんの交流を継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の行事の時に呼びかけをして参加してもらえらる機会を増やしたい。	交流会、防災訓練時など参加いただき事業所の動きを少し感じていただけたかと思う。	このペースで歩み寄れるように勧めて行きたい。推進会議での意見を事業・運営の改善に繋げたい。	交流会、防災訓練の参加を呼びかけし、事業所行事に参加いただきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練への参加。施設内の訓練を年2回行う。地域住民や推進委員の参加の呼びかけをする。	防災訓練は計画通り出来ている。地域の方の参加も年々増えている。地域の自主防災訓練のかかわりもできている。	継続しながら自然災害についても、少し意識して対策を考えたい。	例年通り防災計画をし実行していく。